

## 市営交通 中期経営計画（平成 27～30 年度）の振り返りについて

平成 26 年度に策定した「市営交通 中期経営計画（平成 27～30 年度）」（以下「本計画」という。）において、「自主自立の経営」を持続し、「信頼と共益の市営交通」を目指して事業を進めてまいりました。

この度、本計画の計画期間である 4 年間のうち、3 か年を経過したことから、振り返りとして目標に対する進捗状況についてご報告します。

## 1 目標達成状況

## (1) 経営目標の達成に向けた指標

表 1 参照

## (2) 個別事業の進捗状況（別添資料参照）

本計画では、経営努力により生まれた「利益」やみなさまから頂いた「収益」を還元するため、「①お客様に向けて」「②地域社会のために」「③地方公営企業としての責任と経営基盤の強化」の 3 つの視点に沿った 81 事業を掲げておりますが、平成 29 年度末時点では、73 事業（90%）が目標どおりに進捗しています。

進捗状況	事業数（全 81 事業）	割合
目標を上回って進捗している…◎	13	16%
目標どおり進捗している …○	60	74%
目標どおりに進んでいない …△	6	7%
事業の終了・変更 …—	2	3%

目標どおり  
73 事業（90%）

## 【参考：目標どおりに進んでいない事業（6 事業）】

No.	事業名	事業目標	29 年度目標に対する進捗状況
1	バス	バス停ポールの固定化	220 か所実施 / 43 か所実施 / ◎50 か所
2		バス教習施設の新設	教習施設の用地確保と工事着手 / 適地調査中 / ◎工事
3	バス	燃料電池バス(FCバス)導入	試験導入 / 課題調整中 / ◎試験導入
4	地下鉄	高架橋高欄部補修工事	新羽出入庫線及びセンター南北間 29 年度完了 / 施工中(30 年度完成) / ◎工事完了
5	地下鉄	変電所更新	2 か所 / 契約不調による遅れ / ◎1 か所工事
6	地下鉄	関内駅改良工事	29 年度完了 / 契約不調による遅れ / ◎完了

## 2 振り返りにおける進捗状況

本計画に基づく取組を着実に進めてきた結果、「経営目標の達成に向けた指標」については「乗車人員」「利益・収益の還元投資」「企業債残高」のほか、目標を上方修正した「利益の確保」の目標について計画に近い水準で推移しており、着実に進捗しています。

しかしながら、「安全重点施策の達成」の項目については、バス事業は 3 項目中 2 項目が、地下鉄事業は 4 項目中 1 項目が未達成となっており、引き続き、安全運行を最優先に取り組んでまいります。

今年度は現行の中期経営計画の最終年度となることから、引き続き計画目標の達成に向けた取組を進め、お客様や地域社会のみなさまに必要とされる市営交通を目指してまいります。

また、現行計画の検証を行い、次期中期経営計画の策定を進めてまいります。

【表 1：経営目標の達成に向けた指標】

No.	項目	事業	4 か年の目標	27 年度	28 年度	29 年度	3 か年の累計 (進捗率)		
1	安全性の向上	バス	①二輪車との接触事故件数の減 (目標)	9 件 (17 件以内)	17 件 (8 件以内)	3 件 (8 件以内)	—		
			②車内事故【発車反動・ドア狭圧】 件数の減 (目標)	20 件 (16 件以内)	17 件 (16 件以内)	20 件 (13 件以内)	—		
			③静止物との接触事故件数の減 (目標)	253 件 (261 件以内)	271 件 (226 件以内)	240 件 (216 件以内)	—		
		地下鉄	安全重点施策で定める 目標値を 4 年連続達成	①ヒューマンエラーに起因する 事故・輸送障害の減 (目標)	16 件 (15 件未満)	16 件 (15 件未満)	16 件 (14 件以下)	—	
				②車両・設備の故障件数 の減(※1) (目標)	車両	227 件 (215 件未満)	194 件 (205 件未満)	146 件 (150 件以下)	—
					設備	297 件 (307 件未満)	318 件 (268 件未満)	256 件 (270 件以下)	—
				③(工事による)鉄道運転事故、 重大インシデント : 0 件	0 件	0 件	0 件	—	
				④輸送安全・運行に係る工事事 件数の減	—	0 件 (5 件未満)	0 件 (0 件)	—	
2	お客様からの評価	共通	お褒め・お礼の件数 累計 1,000 件	180 件	176 件	200 件 (56%)	556 件 (56%)		
		共通	市民意識調査における市政満足 度「バス・地下鉄の便」50%以上	48.1%	50.1%	50.7%	—		
3	乗車人員	バス・地下 鉄合計	1 日あたり 100 万人	97.0 万人	98.1 万人	99.1 万人	—		
4	利益・収益の還元投資	バス	【お客様に向けて】 累計 9 億円	0.8 億円	4.8 億円	7.1 億円	12.7 億円 (141%)		
			【地域社会のために】 累計 10 億円	3.2 億円	2.3 億円	5.1 億円	10.6 億円 (106%)		
		地下鉄	【お客様に向けて】 累計 291 億円	46.5 億円	99.5 億円	123.2 億円	269.2 億円 (93%)		
			【地域社会のために】 累計 9 億円	2.5 億円	3.1 億円	4.6 億円	10.2 億円 (113%)		
5	利益の確保(※2)	バス	経常利益 累計 40 億円	18.0 億円	15.8 億円	6.3 億円	40.1 億円 (100%)		
		地下鉄	経常利益 累計 350 億円	83.7 億円	93.0 億円	96.3 億円	273.0 億円 (78%)		
6	企業債残高	バス	29 億円	16.8 億円	8.6 億円	7.6 億円	—		
		地下鉄	3,452 億円	3,852.4 億円	3,716.6 億円	3,579.6 億円	—		
7	職員アンケートにおけ る「やりがい」指標	共通	4.0 点 (5 点満点)	3.44 点	3.43 点	3.45 点	—		

※1 29 年度から車両故障の基準を変更（蛍光灯交換を車両故障の対象から除外）。

【参考】蛍光灯交換を除外した場合の 27、28 年度実績・・・27 年度：175 件、28 年度：156 件

※2 「利益の確保」については、平成 29 年 3 月に、バス・地下鉄ともに経常利益の目標額を上方修正。

## 個別事業の進捗状況

## 【進捗状況】

◎…目標を上回って進捗している	13事業
○…目標どおり進捗している	60事業
△…目標どおり進んでいない	6事業
—…評価対象外	2事業
合計	81事業

## 1 お客様に向けて

## (1) 災害対策①地震に強い地下鉄の実現

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
1	地下鉄	さらなる耐震補強	中柱460本 高架橋320本	中柱110本 高架橋90本	中柱40本、高架橋284本を施工	○

## (2) 災害対策②雨・雪に強い地下鉄の実現

No.		事業名	事業目標	c	29年度 進捗状況	
2	地下鉄	浸水防止機の更新	32か所更新	8か所更新	8か所の更新工事を完了	○
3	地下鉄	3000S形プレーキ装置改修	8編成実施	4編成実施	4編成の装置の改良を実施	○

## (3) 地下鉄施設の計画的補修

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
4	地下鉄	平沼町シールドトンネル補修工事	下り線完了 上り線着手	下り線施工	施工中	○
5	地下鉄	大江橋シールドトンネル補修工事	30年度 工事完了	工事・施工	施工中	○
6	地下鉄	高架橋高欄部補修工事	新羽出入庫線及び センター南北間29 年度完了	工事完了	施工中(30年度完成予定)	△
7	地下鉄	軌道改良(塩害対策)	関内～桜木町間完 了・桜木町～高島 町間着手	関内～桜木町間 (下り線)	関内～吉野町間(下り線) ※塩害対策区間の施行位置順序を入れ替え	○
8	地下鉄	駅構内壁面タイル補修 工事	38駅で実施	8駅工事 24駅設計	・14駅工事 ・20駅設計	○
9	地下鉄	変電所更新	2か所	1か所工事	契約不調による遅れあり。30年4月に契約	△
10	地下鉄	信号保安設備更新	2か所(機器室)	1か所工事	1か所工事。	○

## (4) バス車両・施設の安全対策

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
11	バス	車外向け音声放送装置 の導入	全車(800両)への導 入	運用	運用	○
12	バス	接近検知警報機器の導 入	小型バス・観光型 バス全車導入	運用	運用	○
13	バス	車いす固定ベルトの更 新	全車(800両) の更新	200両 更新	全車両更新	○
14	バス	バス停ポールの固定化	220か所 実施	50か所 実施	43か所実施 <目標220か所中、142か所固定化済>	△

## (5) バス教習施設の新設

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
15	バス	バス教習施設の新設	教習施設の用地確 保と工事着手	工事	適地調査中	△

## (6) 安全管理体制の強化

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
16	両事業	安全管理体制の継続的 改善	—	—	・内部監査員向けの研修を充実 ・マネジメントレビューの様式見直し	○
17	地下鉄	災害対応訓練の充実	—	—	・異常時総合訓練、津波対応訓練実施	○

## (7)ICTを活用したお客様への情報提供

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
18	バス	バス運行へのICT導入拡大	ICTの活用によるバス運行の安全・サービス向上	構築・運用開始	営業所のバス運行管理にかかる改修を実施	○
19	地下鉄	ブルーライン車内案内表示システム改修	12編成改修	6編成実施	6編成の装置の改良を実施	○
20	両事業	多目的デジタル案内板の設置	横浜駅バスターミナル・地下鉄主要駅への設置	システム構築	地下鉄主要駅など16駅に増設	○

## (8)バスの利便性を高めるダイヤ改正

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
21	バス	バスの利便性を高めるダイヤ改正	40路線の改善	10路線改善・検証	35路線でダイヤ改正を実施	◎

## (9)ブルーライン快速運転の実施・検証

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
22	地下鉄	ブルーライン快速運転の実施・検証	速達化と利便性向上	検証・ダイヤ改正	検証	○

## (10)グリーンライン輸送力増強の検討

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
23	地下鉄	グリーンライン輸送力増強の検討	—	—	混雑緩和対策について各部横断的に検討を行い、6両編成化の事業化判断及び最混雑時間帯における増発(18→19本)のダイヤ改正を実施	◎

## (11)他鉄道路線との連絡運輸の拡大

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
24	地下鉄	連絡定期券の発売範囲拡大	発売範囲の拡大	発売・効果測定	ブルーライン～小田急(湘南台駅経由)～相鉄(大和駅経由)の定期券を新たに発売	○

## (12)乗車券制度の見直しとサービス拡充

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
25	バス	分かりやすい乗車券制度の検討	—	—	通学定期券の値下げ、シニアバスのIC化及び値上げ、1日乗車券の紙券化など	◎
26	バス	定期券発売所の発売体制見直し	—	—	バス利用者の利便性を踏まえ検討実施	○
27	地下鉄	乗車券制度の見直し	—	—	通学定期券の値下げを実施	○

## (13)駅構内店舗の開発と活性化の推進

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
28	地下鉄	駅構内の開発推進	新規3店舗の開店	1店舗開店	都筑ふれあいの丘駅横に、新たに1店舗が開店	○
29	地下鉄	駅構内店舗の活性化	魅力あふれる駅ナカ店舗の仕組みづくり	検討・実施	宅配ロッカー7台・ATM4台増設、ワゴン販売の拡充	○

## (14)バス停ベンチ・上屋の計画的更新、修繕及び新設

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
30	バス	バス停ベンチの計画的更新、修繕及び新設	更新及び新設計80基	更新・新設20基	更新12基・新設11基	◎
31	バス	バス停上屋の計画的更新、修繕及び新設	更新及び新設14か所、修繕40か所	更新・新設3基、修繕10か所	更新1基・新設2基・修繕32基	◎

## (15)地下鉄駅の大規模改良工事の実施

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
32	地下鉄	関内駅改良工事	29年度完了	完了	契約不調が続き、進捗が遅れているが31年度完了予定。	△
33	地下鉄	新横浜駅改良工事	一部完了	実施	換気機械室移設工事及び第5出入口移設工事を実施中。また、駅改良の設計を実施中。	○
34	地下鉄	上永谷駅改良工事	30年度調査設計	検討	ホーム上屋・対向壁の基本計画を検討	○

## (16)地下鉄駅設備のリニューアル

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
35	地下鉄	エスカレーターのリニューアル	9台更新	2台更新	横浜駅(2台)更新	○
36	地下鉄	エレベーターのリニューアル	11台更新	2台更新	4台更新(戸塚駅2台、関内駅2台)	◎
37	地下鉄	駅トイレのリニューアル	7駅実施	2駅実施	2駅(戸塚駅、片倉町駅)実施	○

## (17)地下鉄駅の冷房化

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
38	地下鉄	地下鉄駅の冷房化	13駅実施	4駅実施	4駅(新羽、川和町、三ツ沢下町、三ツ沢上町)実施	○

## (18)分かりやすく、使いやすい駅の実現

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
39	地下鉄	案内サインのリニューアル	12駅実施	4駅実施	5駅(戸塚、港南中央、蒔田、吉野町、伊勢佐木長者町)実施	◎
40	地下鉄	駅高所清掃の実施	40駅実施	10駅実施	全40駅で実施	◎
41	地下鉄	駅ベンチの新設・更新	順次実施	新設・更新	27~29年度までに5駅で新設	○
42	地下鉄	駅掲示物の効果的配置	順次実施	実施・検証	予約システムの改善による事務円滑化を図った。	○
43	地下鉄	駅のおもてなし充実	お客様へのご案内充実	試行実施	横浜駅、新横浜駅、桜木町駅に配置しているステーションアテンダントの継続。	○

## (19)ブルーライン3000形車両の新造・改修

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
44	地下鉄	3000形5次車の製造	28年度投入	—	3000形5次車は、平成29年3月23日完成、4月9日投入	—
—	地下鉄	3000A形車両の改修	3編成改修	—	3000A形車両の改修から、新車(3000V形2次車)の製造に事業方針を変更	—

## (20)お客様の立場に立った更なる接遇の向上

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
45	両事業	お客様の立場に立った更なる接遇の向上	—	—	研修の強化・充実(レベルや個人の課題に応じた研修など)	○

## (21)低床バスの完全導入

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
46	バス	低床バスの完全導入	全車両低床化(18両導入)	7両導入	小型ツーステップバスのノンステップ化が完了(18両)	○

## (22)乗り換え動線の円滑化

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
47	地下鉄	乗り換え動線の円滑化	あざみ野駅完了・横浜駅着手	あざみ野完了・横浜設計	横浜駅スロープの設計を実施 ※あざみ野駅は28年度完了	○

## 2 地域社会のために

### (1) 環境にやさしいバスの導入

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
48	バス	ハイブリッドバス導入	15両	—	28年度の入札不調分の5両を導入	◎
49	バス	燃料電池バス(FCバス)導入	試験導入	試験導入	課題解決に向け調整中	△

### (2) 地下鉄車両の省電力化

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
50	地下鉄	地下鉄車内照明のLED化	BL:25編成 GL:15編成	BL8編成	BLのR形7編成のLED化を実施。また、GLの15編成については計画を前倒して実施。	◎

### (3) 地下鉄駅照明の省電力化

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
51	地下鉄	駅照明の省電力化	10駅実施	3駅実施	3駅(岸根公園、片倉町、三ツ沢上町)実施	○

### (4) 地下鉄湧水の活用

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
52	地下鉄	地下鉄湧水を区役所で利用	区役所への湧水供給開始	利用	地下鉄湧水の港南区総合庁舎での利用を継続	○

### (5) 地域貢献型バスサービスの実施

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
53	バス	地域貢献型バスサービスの実施	新規2路線実施	1路線実施	特定旅客運送事業「聖隷横浜病院無料送迎バス」の許可を取得。(平成30年4月運行開始) (累計2路線実施、1路線許可取得)	◎

### (6) 市内中小企業振興に向けた取組

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
54	両事業	市内中小企業への発注	累計8億円	2億円	29年度の発注実績:約7億円	◎

### (7) 沿線の賑わい創出の取組

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
55	両事業	商店街等との連携	—	—	<沿線商店街の魅力の情報発信> ケーブルテレビのオリジナル番組や交通局広報誌「ぐるっと」による市営交通と沿線商店街の魅力発信。市商連主催「ガチチョコ！」のPR協力。	○
56	両事業	広報誌のリニューアル	—	—	隔月(6回/年)発行で、バス・地下鉄沿線のおすすめスポット、イベント、グルメ情報、商店街情報を紹介することで、沿線の賑わい創出に貢献。	○

### (8) 新羽車両基地の有効活用の推進

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
57	地下鉄	新羽車両基地高架下・屋上の有効活用	年間貸付料 5,000万円	事業化推進	公募条件に基づき予約契約を締結。また、定期建物賃貸借契約に係る合意書の締結及び公正証書作成を実施(年間貸付料収入 約7,200万円)	○

### 3 地方公営企業としての責任と経営基盤の強化

#### (1) 観光・MICE振興などと連携した観光誘客の促進

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
58	バス	あかいくつの利便性向上	回遊性向上に向けた運行ルートの見直し	回遊性向上に向けた新たな事業展開	28年度に実施した増便や料金改定の効果検証の結果、より利便性の高いダイヤに改正し、他の路線との接続を改善した	○
59	バス	横濱ベイサイドラインの収支改善	コースの見直し	改善策の展開	28年9月末をもって事業終了。 28年10月から新たな観光路線バス「ぶらり観光SANN路線」を運行開始。	—

#### (2) 高速鉄道3号線延伸の検討

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
60	地下鉄	高速鉄道3号線延伸の検討	—	—	3号線延伸について事業候補者として、29、30年度の2か年で事業化判断につなげるための調査・検討に着手した。	○

#### (3) 地下鉄横浜駅改良計画の策定

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
61	地下鉄	地下鉄横浜駅改良計画の策定	—	—	横浜駅改良計画の策定に向け検討中	○

#### (4) 乗車料収入の確保・増収対策

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
62	バス	営業力の強化	利用状況の分析と営業活動の強化	実施	市営バスの乗車に不慣れな方に向けて、路線マップにバスの乗り方を掲出など	○
63	両事業	タイアップ企画等の展開	—	—	・地元プロスポーツチームとのタイアップ ・沿線企業などとのタイアップ ・本市施策とのタイアップ タイアップに合わせたオリジナルデザインの企画乗車券の発売ほか	○

#### (5) 貸切バス事業の収入確保

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
64	バス	貸切バス事業の収入確保	収入確保	車両更新	・1両増車。 ・4つのオリジナルツアーを実施 ・大幅な増収となった	◎

#### (6) 附帯事業収入の確保・増収対策

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
65	両事業	低未利用地・高架下の有効活用	25年度決算比15%増	事業化推進	センター南北高架下40区画に飲食・ダンススタジオ等複合施設が開業したほか、職員住宅の賃貸借が始まった。また、30年4月開園に向けて保育園の整備が進んだ。(対25年度決算13%増)	○
66	両事業	広告事業の媒体価値向上	—	—	・12駅で駅貼りボードのリニューアル実施 ・センター南駅等で広告をデジタル化	○

(7)バス事業の競争力強化と持続可能な経営

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
67	バス	バス路線ネットワークの充実・見直し	充実・見直し	検討・実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規需要の開拓として、道路局所管の「地域交通サポート事業」を活用し、保土ヶ谷区境木本町地区を運行する214系統を新設した。</li> <li>・路線の効率化として、港北ニュータウン地区の路線である308・310系統を統合し、318系統を新設した。</li> <li>・アクセス向上として、25系統を星川駅への路線延長を実施した。</li> </ul>	○
68	バス	新たなバス交通の導入検討	導入検討	導入検討	連節バスの運行事業者として、導入に関する課題の検討及び補助金の獲得に向けた調整、車両発注に向けた仕様の検討・調整を実施。	○
69	バス	バス運行委託の継続及び委託路線の拡大	—	—	横浜交通開発㈱に対する運行委託について、5年間の許可を取得。	○

(8)戦略的広報の推進

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
70	両事業	戦略的広報の推進	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・局として効果的な広報展開を検討するため、広報戦略会議を定期的実施。</li> <li>・広報重点事業を年度初めに選定し、地元メディアと連携したPR動画の制作(年5本)などを行った。</li> <li>・新たな広報媒体として公式Facebookページを開設し、高頻度で記事の投稿を実施している。</li> <li>・eアンケートを行い、事業や広報媒体の認知度を測った。</li> </ul>	○

(9)業務用タブレット端末の活用

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
71	両事業	業務用タブレット端末の活用	320台導入	80台導入	地下保守管理部門への導入開始予定だったが、契約不調により導入時期が30年度となった。(28年度までで事業目標は達成)	○

(10)市営交通グループの競争力強化

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
72	両事業	関連団体の見直し	重複業務の見直し	検証	関係団体のあり方について検証を実施	○

(11)バス・地下鉄事業を担う人材の育成と確保

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
73	バス	バス直営車検の拡大・工場建設	直営車検工場建設	実施設計	実施設計が完了	○
74	地下鉄	駅務機器の研修環境の整備	研修環境の整備と習熟度向上	継続	一般職員とトレーナーを分けたレベル別の実機研修を実施。トレーナーレベルの職員の育成を実施	○

(12)職員の健康管理の増進・職場環境の改善

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
75	両事業	職員の健康管理	健診等事後フォローの充実及びメンタルヘルス体制の整備	—	健診DEへ文書での受診勧奨(91件)。SASの重症・中等症の治療状況把握。様々な機会を利用した心のセルフケアの研修実施(30回)	○
76	バス	営業所施設の計画的修繕	完全分煙化及び計画的修繕	修繕	本牧営業所と緑営業所の改修工事に合わせ、事務所床やトイレの更新、女性用施設の整備等を行った	○
77	地下鉄	女性職員が働きやすい職場環境の整備	—	—	中川駅の工事に着手し、H30年度に完了予定	○

## (13)コンプライアンスの更なる徹底の推進

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
78	両事業	公金の取扱や適正な事務処理に対する職員意識の向上	—	—	<p>&lt;公金管理&gt; 公金監査を担当する責任職に、監査の進め方及び公金の重要性を改めて認識し、公金を取り扱う職員に対しても重要性を伝えるために「公金監査員研修」を実施。公金監査の実施報告、各本部プロジェクトによる公金等(乗車券類等)の管理状況の調査報告や車両課修繕費未払事案に対する対応状況報告など、2か月に1度の委員会を定期的に開催し、職員意識の向上につなげた。</p> <p>&lt;適切な事務処理&gt; 基礎研修及び課別・内容希望制の研修を行い、スキルアップを図った。基礎研修において、「出納中級」を新設した。また、課別の研修では、各課の実情に則して対象課を決定し、新たに一連の事務手続きに関する研修を行った。そのほか、1月に局内全課を対象に内部監察を実施した。</p>	○
79	両事業	コンプライアンスの推進に向けた実効性確保	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンス推進委員会を開催。(毎月1回)収入金誤差や事務処理ミスなどの原因・再発防止策を議論。また、再発防止策が機能しているかを確認。</li> <li>・公金等管理検討部会を開催。(2か月に1回)</li> <li>・各所属における不祥事防止研修の実施を指示。</li> </ul>	○

## (14)組織風土改革

No.		事業名	事業目標	29年度目標	29年度 進捗状況	
80	両事業	職員提案制度の活用	—	—	28年度に要綱を改正、29年度から「アイデア提案」を整理して実施。	○
81	両事業	自主企画事業支援制度の活用	—	—	年2回(夏・秋)事業を募集。各部の審査の結果、応募件数14件のうち7件の事業化が決定。	○